

しまね いきいきねっと

(公財)ふるさと島根定住財団
(しまね県民活動支援センター)
<https://www.teiju.or.jp/>

2019

4月号 Vol.132



今月の見どころ

P1. 「地活っちゃんが行く！」
他団体から学ぶ 共感力をアップさせる情報発信

P3. 助成金・イベント情報

P2. 2018 年度中国ろうきん NPO 寄付システム贈呈式開催
レポート、NPO 入門講座、定款読み合わせのおすすめ

P4. 島根で頑張る人
NPO 法人おっちラボ
小俣 健三郎 さん



第33回 \ 他団体から学ぶ /

地活っちゃん 共感力をアップさせる情報発信



今年度、ふるさと島根定住財団では、団体の活動を広く周知し、より多くの共感を得てもらう為、県内の NPO 法人・地域づくり団体・公民館などを対象に共感 CM（動画）を募集しました。応募作品の中から「共感 CM 大賞」、「審査員特別賞」、「共感賞」を決定し、地域づくりオールスター祭で表彰式を行いました。今回、「共感賞」を受賞された NPO 法人アニマルレスキュードリームロードさんに情報発信のヒントを伺いました！

Q：団体の活動を簡単に教えてください。

A：殺処分される「命」を一匹でも助けたいと犬猫の保護・譲渡、迷子の犬猫の飼い主探し、啓発活動を続けています。

Q：共感 CM の動画はどうやって作りましたか？

A：携帯で作りました。

Q：ホームページや SNS でも写真・動画・記事を頻繁に発信されていますね？

A：はい。まず、日々の活動や思いをしっかりと伝え、ありのままを知ってもらうこと。活動を続けて応援してもらい、沢山の人を巻き込んで大きな力にし、啓発を頑張っていきたいです。

Q：ポスターも自団体で作成されるんですか？

A：はい。このポスターは、地域の動物愛護団体 4 団体で作り、県内各所に配布しました。皆の伝えたい思いを限られた文字と写真で、この 4 枚に込めました。

Q：平成 22 年から活動されていますが、取り巻く状況は変わってきましたか？

A：約 10 年前に比べて活動を知ってもらうことで、地元のボランティアや寄付、餌や砂などの物品寄付を通して、応援して下さる人が増えてきました。

Q：クラウドファンディングにも挑戦され、目標額を達成されたそうですね。

A：応援してくれる仲間が全国にいて、支援の輪が広がっているのが、ありがたいです。



▲メンバーの原理事長(右)と飯塚副理事長(左)



2018
共感 CM 応募作品

取材させて頂いて感じた「共感力をアップさせる情報発信」のヒント！

- ① 団体の活動内容、目的、課題、今後のビジョンなどを団体内で整理し、メンバーで共有する。
- ② 自分達の活動や思いを丁寧に伝える。
- ③ 誰に対して何を伝えたいのか明確にする。(クラウドファンディングにもつながる)。
- ④ 動画や写真で視覚的にうったえる。
- ⑤ 新しい情報を日々発信する。





NPO 寄付システム贈呈式 開催しました！

28 団体採択、
165 万円配分

3 月 11 日(月)に、中国ろうきん寄付システムの採択団体のうち 20 団体が出席して、NPO 寄付システムの贈呈式が開催されました。3 月 11 日は東日本大震災が起きた日ということから、出雲市総合ボランティアセンター運営委員長の岸幹人氏より、「東日本大震災から 8 年 今、我々 NPO にできる事とは…」と題して熊本地震や豪雨災害の被災地での支援活動の実状を講演頂きました。また、災害支援をテーマにグループワークを参加者で行って活発な意見交換をし、交流を深めました。



▲ 贈呈式の様子

Q: 中国ろうきん寄付システムとは？

A: 中国ろうきんを通じて、NPO の各活動分野に対して定期的に寄付されたお金を県内の NPO 法人に配分することにより、広く県民と NPO 法人をつなぎ、多様な活動を行う NPO 法人の基盤づくりを支援していくことを目的としています。今年度、寄付者が初めて 1,000 人を超え、また、寄付額が初めて 200 万円を突破しました。



▲ 講師の岸幹人氏と参加者

※来年度の募集については、内容が決定次第、フレフレしまねに掲載する予定です。

基礎からはじめる！NPO入門講座

「そもそも NPO って何だろう？」、「NPO はお金を稼いでもいいの？」などなど…。

皆さんの疑問に丁寧にお答えします！先輩 NPO ゲストの生の声も聞けます。

これから活動を始めようとしている方、NPO に興味ある方、NPO 初心者におすすめです♪

今後の NPO 活動に役立つヒントがいっぱいです。

講師：行政書士/当財団相談員
中野俊雄 氏

東部会場

4月23日(火)13:30~16:15

荒神谷博物館 交流学習室

◆先輩 NPO ゲスト

NPO 法人 faith to face

理事兼事務局長 石田 勝己 氏

西部会場

4月25日(木)13:30~16:15

益田市立市民学習センター 202

◆先輩 NPO ゲスト

NPO 法人益田自立支援センター

理事長 豊田 浩 氏

NPO法人の皆さん、
自団体の定款を改めて読み合わせしてみませんか？

3 月末に決算をむかえる NPO 法人の皆さんは、総会の開催に向けて準備を始められたころでしょうか。

「貸借対照表の公告」の義務づけがスタートしたことにより、近年、定款を変更した NPO 法人も多いのでは？

この機会に自団体の定款を団体内で読み合わせし、公告方法の変更部分の見直しだけではなく、定款の内容が自団体の目的、事業、そして実態にあっているか、検討してみましょう！

定款を変更した場合は、所轄庁への定款変更に関する手続きや、必要ならば法務局手続きもお忘れなく。

「貸借対照表の公告」の準備にともなって定款変更が必要にも関わらず、まだできていない団体は、次の総会で定款変更手続きをとりましょう。

今月の和歌

海土の手で捕り魚を糧として 吾子の巢立ちぞいとおしく待つ (島根県海士町 笹鹿 岳志 さん)
第 3 回農業・農村はかっこいい！和歌募集 秀作作品



2019年度(第17回) ドコモ 市民活動団体助成事業

- 締切日:2019年3月31日(日)
- 対象:日本国内に活動拠点を有する民間の非営利活動団体で、NPO法人などの法人格を有するもの※他条件有
- 助成内容:①子どもの健全な育成を支援する活動②経済的困難を抱える子どもを支援する活動に助成
- 助成金額:①1団体上限70万円 ②1団体上限100万円
- 問合せ先:NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド事務局
TEL:03-3509-7651(平日10時~18時)
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/4025>



「JM基金」公益推進協会

- 締切日:2019年4月8日(月)当日消印有効
- 対象:日本全国において食事支援活動を行う団体※他条件有
- 内容:子どもの心と体の健やかな成長を願い、子ども社会に格差のない「平等の機会」を支援することを目的に、そのような子どもたちに無料で食事の提供をしている団体に助成支援を行う。
- 助成金額:1件あたり30万円以内(10件程度)
- 問合せ先:(公財)公益推進協会 JM基金事務局(担当:高野)
TEL:03-5425-4201 FAX:03-5405-1814
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/4029>



2019年度 助成事業 「共生社会を創る愛の基金」

- 締切日:2019年4月8日(月)必着
- 対象:ボランティア団体やNPO等(「親の会」のような法人でない集まりも含む)による「罪に問われた障がい者」を支援するための草の根活動。各地域で行われている「罪に問われた障がい者」を支援する活動に助成
- 助成金額:1団体上限20万円
- 問合せ先:「共生社会を創る愛の基金」事務局(担当:南口)
TEL:0957-77-3600 FAX:0957-77-3966
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/4032>



2019年度 健全育成研究助成

- 締切日:2019年4月12日(金)必着
- 対象:児童の健全育成に寄与する研究に携わる研究者
- 助成内容:①一般助成:分野・領域を問いません②児童厚生員養成校特定助成:児童福祉分野・児童健全育成の研究(①②ともに国内での研究を対象とする)
- 助成金額:1件あたり、それぞれ上限50万円
- 問合せ先:(一財)児童健全育成推進財団 研究助成係
TEL:03-3486-5141
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/4033>



第71回 保健文化賞

- 締切日:2019年4月15日(月)当日消印有効
- 対象:①保健衛生(関連する福祉等を含む)を実際に著しく向上させた団体、個人②保健衛生(関連する福祉等を含む)の向上に著しく寄与する研究または発見をした団体、個人
- 表彰内容:厚生労働大臣賞(表彰状)/第一生命賞(感謝状:賞金団体200万円・個人100万円)/朝日新聞厚生文化事業団賞(記念品)/NHK厚生文化事業団賞(記念品)
- 問合せ先:第一生命保険株式会社 DSR推進室
TEL:050-3780-6950
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/4023>



2019年度 地域福祉振興助成

- 締切日:2019年4月18日(木)必着
- 対象:障がい者や社会的弱者を支援するボランティア活動、福祉活動に取り組む団体、グループ
- 対象事業:障がい者を支援する地域福祉に関わる新規事業立上げ、環境整備のための工事や物品購入費、支援する人材育成・啓発を目的とした講演会・講習会等企画開催等
- 助成金額:1件あたり上限100万円(総額4500万円予定)
- 問合せ先:(公財)木口福祉財団
TEL:0797-21-5150 FAX:0797-35-5261
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/4027>



平成31年度 助成制度合同説明会 クラウドファンディング活用セミナー

- 開催日時:13:30~セミナー・14:30~説明会・15:30~個別相談
- 【松江】2019年4月10日(水)島根県民会館3F大会議室
- 【大田】2019年4月12日(金)あすてらす3F研修室
- 【益田】2019年4月16日(火)益田市立市民学習センター202
- 【浜田】2019年4月17日(水)いわみぶらっと会議室
- 【出雲】2019年4月19日(金)島根県出雲合同庁舎703
- 【隠岐】2019年4月24日(水)隠岐合同庁舎別館第3会議室
- 問合せ先:(公財)ふるさと島根定住財団 地域活動支援課
TEL:0852-28-0690 FAX:0852-28-0692
<https://www.shimane-ikiiki.jp/events/3953>



島根県西部地震からの復興を 考えるシンポジウム

- 開催日時:2019年4月14日(日)13:00~16:00
- 会場:サンレディー大田(大田市大田町大田口1329-9)
- 内容:被災地だからこそできる防災の形を考えてみませんか? 基調講演「復旧と復興~復興への地域課題~」 パネルディスカッション「被災後の地域を守るには」 日野ボランティア・ネットワーク事務局 山下弘彦氏
- 参加費:無料(定員300名程度)
- 問合せ先:大田市社会福祉協議会
TEL:0854-82-0091 FAX:0854-82-9960
<https://www.shimane-ikiiki.jp/events/3939>



地域の暮らしを良くする“みんなのチャレンジ”が溢れる雲南市を目指して

桜並木が続く斐伊川沿いから一本脇道に入ると、商店街の一角に「三日市ラボ」と書かれた白い扉。その中にはスケジュールやマップが書かれた大きな黒板。そして、スタッフがPCを並べてオンライン会議中。静かな町の風景とは正反対のにぎやかな空間が広がっている。小侯さんが代表理事を務めるNPO法人おっちラボの拠点となる場所だ。

今から4年前、小侯さんは初めて島根に足を踏み入れた。それまでは東京で弁護士として活躍していたが、知人から島根で働かないかと誘われたことがきっかけで、雲南市の地域活性化の取り組みを知った。そして「ここならもっと俯瞰的な視点で社会をよくすることができる」と思い、雲南市へ単身1ターン。小侯さんのチャレンジがスタートした。

小侯さんは、おっちラボが雲南市から受託運営する「幸雲南塾」でコーディネーターに就任し、地域の未来をつくるローカルチャレンジャーの育成を行っている。塾生の多くは、地域の課題解決に関心が強いものの、それを1人で実践するのは難しい。そこで小侯さんは、企業や地域のキーマンとのつながり作りを支援し、周囲との協働を後押ししてきた。また、事業運営のコーチングをすることで、塾生がより実践的に学べるように工夫しているという。地域のリーダー的存在として、周囲の人と協働しながらプロジェクトを実行する卒業生も増えてきた。地域で地元食材を使ったカフェをオープンしたり、買い物弱者を支える仕組みを作

るなど、地域活性のための様々な活動を展開している。これまで約70のプロジェクトが立ち上げられ、うち約9割もの事業者が現在も持続して活動を行っている。

「地域の人や外からやってきたチャレンジャーが常に動き続けることで、地域は進化していく」と小侯さんは考える。誰もがすぐに実行でき、失敗しても改善して次に生かすというサイクルが回っていくことで、地域自体が持続していくのだ。

多くのチャレンジャーを生み出してきた幸雲南塾。しかしながら、現在のマンツーマン指導のままでは限界があると感じるようになってきた。より多くの人に挑戦してもらうには新しい仕組みが必要となったため、今後はゼミ形式を取り入れ、塾生同士で意見交換をしながら学べる体制にしたいと考えている。これによって、おっちラボのコーチングを塾生同士で共有し、より効率良くかつ広い視点で学習をすることができるようになる。幸雲南塾自体も進化をしながらチャレンジャー育成のプロ集団となっていくのだ。

今後の計画では、地域のためのコミュニティ財団を創設し、住民参加型で資金の使い道を決定する組織を作る。そして、チャレンジしたい人に対して周囲が応援してくれる仕組みを作り出し、“チャレンジにやさしいまち”の実現を目指す。

地域のためにやることは山積みだ。しかしチャレンジャーを応援するために自分にできることは何でもしたい。小侯さんの“チャレンジ”はまだまだ続く。(F)



NPO 法人おっちラボ 代表理事 小侯 健三郎さん

NPO 法人おっちラボ 代表理事/コーディネーター。1981年東京都生まれ。法科大学院卒業後、主に企業法務を扱う弁護士として約4年半経験を積む。幸雲南塾の運営のほか、ビジネスセクターや都市部との連携強化を担当。趣味はももいろクローバーZ、推しメンは百田夏菜子。

主な活動

2015年6月にNPO法人おっちラボに加入し、2018年代表理事に就任。雲南市木次町にて2014年に創設された同法人は主に若者のチャレンジ応援を担う「幸雲南塾」を運営。想いをカタチにし、地域の未来をつくるローカルチャレンジャーを生み出している。卒業生の活動は、仲間や地域を巻き込んで、地域の課題解決につながる動きや起業に繋がっている。

▼幸雲南塾



▲おっちラボ事務所「三日市ラボ」

県内 NPO 情報 H31.2.28 現在

1	県内NPO法人数	全体	288
		内認定	6
		内仮認定	1
2	新設NPO法人数		1
3	解散NPO法人数		0
4	しまね社会貢献基金登録団体数		67
5	だんだん認証レベル取得団体数	全体	46
		内レベル2	34

●今月の新設NPO法人

NPO 法人ブラジル・サポートセンター（出雲市）

出雲市に居住する外国人（主に日系ブラジル人）に対する支援活動事業を行い、不特定かつ多数の利益増進に寄与することを目的とする。

発行元

公益財団法人 ふるさと島根定住財団

（しまね県民活動支援センター）

【松江事務局】

〒690-0003 松江市朝日町478-18 松江テルサ3階

TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692

E-mail : chiiki@teiju.or.jp

【石見事務所】

〒697-0034 浜田市相生町 1391-8 シティパルク

浜田 2 階 石見産業支援センター「いわみぷらっと」内

TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630

E-mail : iwami@teiju.or.jp



Facebook も日々更新中！
しまね県民活動支援センター
（ふるさと島根定住財団）で
検索してみてください♪



県民活動支援サイト SHIMANE IKIKI WAKABA
島根いきいき広場

<https://www.shimane-ikiiki.jp/>